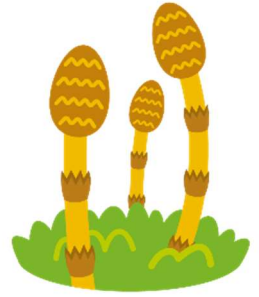




# 綿っ子通信



令和7年3月26日発行 最終号

## 3月24日 卒業式

3月24日（月）たくさんのご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席のもと、厳粛かつ盛大に卒業式が行われ、79名の卒業生が一人ひとりの思いを胸に綿打小学校を巣立っていきました。

綿打小学校の子どもたちは、本当に歌が上手で、「国歌」「校歌」「旅立ちの日に」そして式歌「仰げば尊し」まで、素晴らしい歌声が会場いっぱい響きました。最後の式歌では、保護者の皆様にも歌唱に参加していただき、みんなの歌で卒業生を送り出すこともできました。

また、事前の式場準備や清掃に協力し、当日は在校生代表として送辞や歌で卒業式に参加してくれた5年生もとても立派でした。5年生にとっても、卒業生から伝統を引き継ぎ、学校の新しいリーダーとしての自覚が芽生えた式になったと思います。



【5年生による事前準備の様子】



※ 学校ブログ（ホームページ）では、この他にも学校の様子を発信しています。ぜひ、こちらをご覧ください。→→→



## 修了式 「0（ゼロ）」から「1」を生み出すために

1年生から5年生までが体育館に集まり修了式が行われました。

修了式では、はじめに3学期の通知表が1、2学期の通知表と違うことについて話をしました。まず、各教科について3学期の評価だけでなく、1年間の評価が数字で示されていることに触れ、これによって自分の得意不得意、これから頑張るところやもっと伸ばせるところに気づき、次の学年に向けてしっかりと復習できるようになっていることを話しました。また、裏面にある「修了証」は、1年間その学年の学習や活動をしっかり行ってきたことの証明書であり、そのがんばりを支えてくれた家族への感謝状でもあることを伝えました。



最後は、3学期の始業式に話した「3学期は、次の学年、学校に向けた『0学期』と考えて過ごす」話のつづきをしました。どの学年の人も、私の話をしっかりと意識して、この3学期を次の学年の準備期間「0学期」として行動してくれました。これなら4月もいいスタートが切れると思いますが、0（学期）のままでは不十分なんです。

0はいくつ足しても、何をかけても、答えは0のまま。0のままではせっかく努力したこともたまっていきません。そんなときは「0から1を生み出すこと」が重要です。実は、会社や企業などで働く大人の人でも、0から1を生み出すことが重要とされています。では、どうすれば0から1が生み出せるのでしょうか。次のようなことが大切だとされています。

### ① 自分で考えること ② 自分から行動すること ③ 仲間と協力すること

そんなことかと思った人も多いかも知れませんが、思い返すと意外にできていないことに気づきます。目標やきまりなどを自分で考えずに、人に決めてもらっていませんか？ お母さんやお父さんに言われてから行動していませんか？ 自分のことしか考えずに、友達とけんかしてしまったことがないですか？ 少しのことからでいいんです。自分で考えて、自分から行動して、仲間と協力し合えたときに、0が1に生まれ変わります。春休みは、そんな1を生み出すことをぜひ意識して過ごしてほしいと思います。そして、4月には、心も身体も一つ大きくなって、新学期が迎えられようようにしてください。



## 退任式

修了式のあとには退任式が行われ、綿打小学校を去られる先生方からお一人ずつごあいさつをいただきました。お世話になった先生方とのお別れは悲しいですが、新天地でのご活躍を願い、感謝の気持ちを込めてお見送りをしました。



保護者や地域の皆様には、退任する教職員から直接お礼を言うことができず、失礼とは存じますが、この紙面をもってごあいさつに代えさせていただきます。

勤務する期間に長短の違いはありましたが、保護者や地域の皆様には大変お世話になりました。皆様方のご協力、ご厚情に心より感謝いたします。ありがとうございました。

令和7年度の始業式は、4月7日（月）です。春休みは短い期間ではありますが、交通事故等にあわないように気をつけて楽しく過ごし、全員が元気に登校してくる姿を楽しみにしています。